

令和3年度の 市政運営について

感染拡大の防止を最優先に

未来への投資を着実に進める

昨年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されてから、感染が全国に拡大し、未だ収束の見通しが立たない状況にあります。この感染症は、私たちの日常を一変させ、市政運営にも様々な影響を及ぼしました。

本市としては、全庁を挙げて対策を実施する体制を整え、生活負担の軽減、市内経済の活性化などを図るため、市独自の支援策を実施してまいりました。

また、一日も早く、この感染症を収束させるため、決め手となるワクチン接種につきました。国や県、医療機関と連携し、万全な接種体制を整えるなど、引き続き感染拡大の防止に全力で取り組んでまいります。

一方、コロナ対策と同時に本市を更に成長・発展させるため、アフターコロナの時代を見据えて、次を生み出すための施策も行っていくかなければなりません。

本市の財政状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税収入の

落ち込みが見込まれます。また、高齢化の進展等による社会保障関係費の自然増が見込まれることに加え、大規模な施策事業の推進や、公共施設の総合的かつ計画的な管理の推進など様々な行政課題にも対応していく必要があり、今後も厳しい財政運営が予想されます。

限られた財源を真に必要な分野に重点的かつ効率的に配分することを基本に、コロナ禍にあっても未来への投資を着実に進めることで、持続可能な社会を構築し、市民生活をより豊かにするとともに、将来にわたって活力の溢れるまち、「力強い清須」を実現すべく全力を尽くしてまいりますので、引き続き市政に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



市長 永田純夫